

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

経済学プログラム

（博士課程前期）

経済学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文若しくは特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（経済学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。

- (1) 国内経済及び国際経済についての理論的及び歴史的視点を持ち、経済的・社会的諸問題に関する客観的で事実に基づいた解決を模索する高度な能力を有している。
- (2) 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。
- (3) 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。
- (4) 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- (5) 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。

（博士課程後期）

経済学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（経済学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。

- (1) 経済学の領域全般に関する学問的成果の展望と最前線の研究成果に通じ、分析ツールの実践的能力を有している。
- (2) 経済学の領域全般に関する学問的成果の展望と最前線の研究成果に通じ、最新の知見の提議を自らに課す能力を有している。
- (3) 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。
- (4) 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。
- (5) 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- (6) 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。